

令和4年度全国中学校体育大会 第52回全国中学校バドミントン大会 参加細則

大会参加にあたり、以下の点についてご理解とご協力をお願いします。
参加校監督より各校参加者並びに保護者様への周知徹底をお願いします。

1 大会参加に際して

- (1) 参加者（監督、選手、マネージャーまたは外部指導者（コーチ）、入場許可申請者）は、本大会が全国の中学生徒を基盤とした学校教育活動下での大会であることを認識し、その歴史的な意義や品位を保つ行動を心がけてください。
- (2) 受付後の入館時と競技場入場時には、大会実行委員会から発行されたIDカードを必ず掲出してください。
- (3) 参加者は、服装等を整えるとともに、大会運営に協力してください。
- (4) 選手は、儀礼（表彰、試合入退場・あいさつ時）の際は、上衣の裾は下衣の中に入れてください。

2 出場選手名簿について

事前に大会ホームページに掲載します。プログラム等に誤字・脱字がないように留意しますが、訂正があれば、ホームページに掲載する書面にて競技開始（8月19日（金）12：00）前に申し出てください。大会本部より正誤表等にて訂正します。

3 参加料の納入について

宿泊・昼食弁当の手配業務を委託した東武トップツアーズの参加料代行收受システムを利用し、振込締め切りの8月13日（土）までに確実に行ってください。また、振込み手数料は振込み者の負担となります。領収書は、大会受付時に実行委員会が発行します。

4 宿泊について

別紙宿泊要項に拠ります。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込んでください。（指定外の宿泊施設の利用は認めません）

5 環境への配慮について

開催地のゴミ分別収集に協力してください。宿泊先の部屋から出る時には、エアコン、テレビ、ライトのスイッチを消してください。節電や節約に協力してください。

6 諸会議及び開閉会式について

- (1) 監督会議は行いません。
質問がある場合は、事前に大会事務局に連絡してください。事前に寄せられた質問については随時回答し、周知すべき事項については資料およびホームページ等に掲載します。
- (2) 開会式および閉会式は行いません。
- (3) 各種目が終了し、準備ができ次第、随時表彰を行います。
表彰には、団体戦・個人戦ともに1位～3位に入賞した選手・監督・マネージャーまたは外部指導者（コーチ）が参加してください。

7 練習会場について

ブロック別に設定していますので、詳しくは別紙の練習会場一覧表を参照してください。練習会場では、係員の指示に従ってください。

8 競技会場・練習会場内への入場可能者について

◆競技会場・練習会場内への入場は以下の者とし、受付時に配布されたIDカードをつけていないと入場することはできません。

<チーム関係者>	出場登録選手・監督（依頼監督）・外部指導者（コーチ）・マネージャー、入場許可申請者、選手の家族（選手1名につき1名）
<大会関係者>	来賓・大会役員・ブロック長・主審員・競技役員・視察員・業者・報道等

9 競技会場の受付・入場について

日にち	開場	受 付		
		チーム関係者(選手の家族を除く)	来賓・大会役員・視察員	選手の家族・報道等
8月18日（木）	*	13：00～16：00		
8月19日（金）	7：50	9：00～10：30	9：00～随時	随 時 ※その都度、行ってください。
8月20日（土）以降	7：50	各日7：50から設定しますが、大会期間中の受付は、初回の1度のみで構いません（ID着用）		

(1) 受付場所

① ホワイト側受付 <チーム関係者>

出場登録選手・監督（依頼監督）・外部指導者（コーチ）・マネージャー・入場許可申請者・選手の家族（選手1名につき1名）

② 事務室側受付 <大会関係者>

来賓・大会役員・ブロック長・競技役員・審判員・視察員・協賛業者・報道 等

(2) 検温及び健康観察

大会会場および練習会場の入口で、入場時の検温を行い、発熱（37.5℃以上）及び風邪症（咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある場合は入場できません。なお、大会期間中、選手や引率者等に発熱（37.5℃以上）及び風邪症状（咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）や倦怠感、味覚嗅覚の異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームは大会に参加できず、棄権となります。また、対戦した相手チームの選手や引率者などに同様の症状がある場合、そのチームは大会に参加できず、棄権となる場合もあります。

(3) 選手・監督の受付は、選手が競技に参加する1時間前までに終わらせてください。

(4) 引率責任者は、チーム関係者全員分の体調を「学校同行者体調記録表」（別紙2）にまとめ、大会会場に来場する各日、受付に提出してください。

(5) 大会関係者は、「来場者体調記録表」（別紙3）を記入し、大会会場に来場する各日、受付に提出してください。

(6) 体育館内は 土足禁止のため、入口で体育館シューズに履き替えて入場してください。なお、脱いだ外履きは袋に入れて自分の席に置いてください。

(7) 受付方法及び入場制限等については、今後の状況によって変更になることがあります。その際は大会ホームページを確認してください。

9 座席・荷物について

(1) 指定された場所に、両隣・前後を空けて座ってください。

(2) 通路やロビー等での敷物・荷物等での場所取りは禁止とします。

(3) 荷物、貴重品の管理については、各自の責任で行ってください。大きい荷物がある場合、観客席後方通路に整頓して置き、通行に支障がないようにしてください。

(4) 応援をする場合はマスクを着用し、指定された場所から拍手等で声を出さずに行ってください。

10 横断幕（部旗・応援旗）の設置について

横断幕（部旗・応援旗）は競技に支障をきたさない大きさのものを使用してください。競技に支障をきたすと判断される場合には、移動をお願いします。また、部旗等は観覧席に掲示するものとし、貼り付ける場合には必ずひもまたは養生テープを使用してください。

11 応援等について

コートに集合した後は、円陣やミーティング等は認めません。直ちに公式練習を始めてください。また、観客席及び競技エリアでの応援は、着座の上、発声の伴う応援はせず自然拍手のみ認めます。（手拍子、鳴り物の使用、足を踏み鳴らす行為等の応援は認めません）

12 プレーヤーの声について

プレーヤーはマッチ（試合）中、大きな声は出さないようにしてください。

13 撮影について

試合中のビデオ撮影は、バッテリーを使用した撮影のみ認めます。競技会場・練習会場内の電源を使用することはできません。

14 飲食について

指定された座席で黙食をお願いします。

15 ごみについて

大会中に発生したごみは、各自必ず持ち帰ってください。また、館内の自動販売機以外で購入したペットボトルを館内の自動販売機に設置してある空容器収納ボックスに捨てないでください。

16 競技会場内スペースの使用について

競技会場内のスペースを独占しての使用はできません。けがの予防や処置等の施術を行うスペース（トレーナースペース）の使用を希望する場合は、場所を割り当てる予定です。使用を希望する場合は、所定の様式（大会ホームページからダウンロードできる参加申込書ファイル内にあります）に入力し、仮申込みのメールおよび正式申込書送付時に事務局まで申し出てください。なお、スペースに限りがありますので、ご希望に添えない場合があることをご了承ください。

※ トレーナーの競技エリアへの入場は認められませんので、施術は競技会場への入場が認められている方が行ってください。

17 各都道府県からの視察について

各都道府県からの視察については、3年後までの開催都道府県（高知県、福井県、大分県）までとします。事前に大会実行委員会事務局に連絡をしてください。なお、場合によっては、会場内に入る人数を制限する場合があります。視察員席については、2階観客席に設けてあります。（座席数限定）

18 駐車場について

(1) 車でお越しの場合は第1駐車場をご利用ください。

①第1駐車場に駐車できない場合、普通自動車は第2・第3・西側・北側駐車場。バス等は第1駐車場に駐車してください（係員が誘導いたします。）。

②晴天時は運動広場も駐車場として開放します。

③駐車場の開場は午前7時30分からです。それ以前の車での来場は、近隣の迷惑になりますのでご注意ください。

④誘導員の指示に従って駐車してください。

(2) 各練習会場では、各会場の指示に従って駐車してください。バス等が駐車できない練習会場では、送迎時以外は弘前運動公園敷地内駐車場で待機してください。

《注意》

・会期中、弘前運動公園では一般の各種大会や個人使用で利用される一般の方もいますので、ご了承ください。

19 青森県武道館への交通案内

○JR奥羽本線 弘前駅から 車・タクシー 約10分

<バス> 弘前駅城東口より

・弘南バス 城東安原線マックスバリュ安原店行に乗り、
「運動公園前駅前」で下車。徒歩で10分（所要時間 約20分）

<電車> 弘前駅（弘南線）より

・弘南鉄道 黒石行に乗り、
「運動公園前駅」で下車。徒歩で約5分（所要時間約10分）

○東北自動車道 大鰐弘前ICから 車 約20分

○東北自動車道 黒石ICから 車 約30分

※ただし、時間帯や交通状況により異なる場合があります。

20 その他

(1) 貴重品は、各自で管理してください。盗難・紛失には責任を負いかねます。

(2) 競技会場・練習会場内での事故による応急処置はいたしますが、その後の責任は各参加者の負担となります。また、傷病発生の場合には、必ず大会本部まで届け出てください